

**「有田焼創業 400 年記念イヤー事業」
体験型屋外仮設空間設営・運営等業務委託仕様書**

1. 委託業務名

「有田焼創業 400 年記念イヤー事業」体験型屋外仮設空間設営・運営等業務委託

2. 委託業務の目的

「有田焼創業 400 年記念イヤー事業」体験型屋外仮設空間設営・運営等に係る業務の円滑な実施を支援することを目的とする。

3. 委託業務場所

佐賀県立九州陶磁文化館（佐賀県西松浦郡有田町戸杓 3100-1）

4. 委託業務期間

契約の日から平成 28 年 1 月 2 日 2 日までとする。

5. 委託予定金額

93,688 千円以内（消費税及び地方消費税を含む）

6. 総則

- (1) 「有田焼創業 400 年記念イヤー事業」体験型屋外仮設空間設営・運営等業務委託（以下「業務」という。）は、この仕様書により実施するものとする。
- (2) 業務の遂行にあたっては、佐賀県有田焼創業 400 年事業実行委員会（以下「委員会」という。）の指示に従って行うこととする。
詳細な事項については、委員会との連携調整を密に行って実施し、経過についても随時報告するものとする。
- (3) 業務の実施にあたって疑義が生じた場合又は業務上重要事項の判断にあたっては、委員会と十分調整の上、その指示又は承認を受けることとする。
- (4) 実施する業務については、状況の変化により業務内容に変更があり得るものとする。
- (5) 業務の企画及び実施にあたっては、県内外を問わず、有田焼、さらに、佐賀県のブランドやプレゼンス向上に繋げるような演出を心掛けることとする。

7. 委託業務の概要

体験型屋外仮設空間の設計及び施工ならびに運営

(1) 施設概要

- ① 場所：九州陶磁文化館 アプローチデッキ
- ② 規模：施工ヤードを含め約 700 m²を確保済
- ③ 工期等：平成 28 年 7 月 15 日までに完工

- 〃 8月11日運営開始
- 〃 11月27日運営終了
- 〃 12月12日までに解体・撤去

(2) 運営

① 概要

■究極の器で佐賀の食を！ ―佐賀馳走―

人間国宝や三右衛門の器で、佐賀の食材にこだわったメニューを提供。
日常では体験できない食空間を演出。

■「ARITA EPISODE2」を体感！

創業400年を機に、新しい有田焼の物語（ARITA EPISODE2）を創ろうとしている。
こうしたプロジェクトのストーリーや開発商品に触れ、未来に向けての有田焼を体感してもらおう。

(参考) 有田焼創業400年事業総合WEBサイト「ARITA EPISODE2」

<http://arita-episode2.jp/>

② ターゲット

■集客：佐賀、福岡を中心とした北部九州圏在住の一般観光客

■情報発信：全国、海外

③ 営業時間

午前10時から午後16時30分／月曜日は休業（祝日は営業）

8. 委託業務内容

(1) 設営に関わる業務

① 総合調整業務

(ア) 企画及び実施計画・スケジュール策定ならびに業務進捗管理

(イ) 関係者等との連絡調整

(ウ) 施設のイメージパース及びレイアウト図の作成

② 設計・監理業務

(ア) 施設の設計

(イ) 施設の施工監理

(ウ) その他設計・監理に付随する業務（計画通知手続、関係法令に基づく各種申請・届出業務を含む）

③ 施工に関わる業務

(ア) 施設の施工（建築・設備工事）及び解体・撤去

(イ) 運営に必要な備品等（テーブル、什器等）の手配、設営及び撤去

(ウ) 案内看板（案内用立て看板、誘導看板等）のデザイン、制作、設営及び撤去

(エ) 有田焼創業400年事業の各プロジェクトを紹介するパネル・キャプションのデザイン、制作、設営及び撤去

<条件>

(ア) 遠くからでも人目を引く工夫や仕掛けがあること。離れた場所から見ても全体が目立ち、集客効果があるデザインを構築すること。

- (イ) デザインや構成等について、設計を変更・修正する可能性があるため、委員会の求めに従い、随時、デザインの変更・修正に応じること。
- (ウ) 施設の施工にあたっては、バリアフリー対応とすること。
- (エ) 施設内には、フリーWiFi 設備を設けること。

(2) 運営に関わる業務

① 共通業務

- (ア) 総合調整業務
 - a) 企画及び実施計画・スケジュール策定ならびに業務進捗管理
 - b) 関係者等との連絡調整
 - c) 運営マニュアルの作成
- (イ) 運営に必要なスタッフの手配及び管理
- (ウ) 売上管理、材料費・人件費等の支払を含む経理
- (エ) 許認可等の取得
- (オ) 清掃・ごみ処理
- (カ) 施設の警備
- (キ) その他必要な業務

<条件>

- (ア) 売上にかかる収入は、全て受託者の収入とする。
- (イ) 光熱水費については、全て受託者の負担とする。
- (ウ) 許認可等の取得に要する費用は、全て受託者の負担とする。
- (エ) 清掃（害虫駆除を含む）及びごみ処理に要する費用は、全て受託者の負担とする。
- (オ) 人的警備及び機械警備による施設の警備を行い、警備に要する費用は全て受託者の負担とする。なお、九州陶磁文化館の警備業務受託会社への外部委託は可とする。
- (カ) 営業時間終了後は、遺漏なく施錠を行うこと。
- (ク) 委員会との連携のもと、スタッフに対し、佐賀の焼き物及び有田焼創業 400 年事業に関する教育を十分に行うこととする。
- (キ) その他、以下の事項を順守することとする。
 - ・スタッフの接客マナー、及び衛生環境の保持を目的とした各種教育の実施
 - ・権利譲渡の禁止
 - ・関係法規の遵守
 - ・損害保険への加入

② 「究極の器で佐賀の食を！ -佐賀馳走-」に関わる業務

- (ア) 営業時間内における飲食物の提供
- (イ) 提供する飲食物の品質管理
- (ウ) 提供する飲食物に必要な食材の仕入及び管理
- (エ) その他必要な業務

<条件>

- (ア) 飲食物の提供に必要な器については、委員会が調達（購入）の上、受託者に貸与する。
- (イ) 飲食物のメニューについては、以下を目安とする。

○デイリーメニュー

- ・佐賀の朝ごはん
- ・佐賀のランチ
- ・佐賀のスイーツ（和・洋・果物）
- ・ドリンク（コーヒー・紅茶・緑茶）

○スペシャルメニュー ※土日祝日や期間限定で提供

- ・佐賀の酒
- ・スターシェフとのコラボメニュー 等

(ウ) 提供する飲食物には、佐賀県産の食材を用いることとする。

(エ) 提供する飲食物（ドリンクを除く）の価格帯は、1,000円～2,000円（税込）を目安とする。

(オ) 施設内での調理は、最終工程（加温、冷却、盛り付け等）のみを想定しているため、ケータリングサービス等を活用し、効率的な調理を行うこととする。

(カ) 受託者が設置する厨房設備・厨房備品に関する修繕費については、受託者が費用を負担することとする。

③ 「ARITA EPISODE2 を体感！」に関わる業務

(ア) 有田焼創業400年事業の各プロジェクトで開発した商品の展示

(イ) 有田焼創業400年事業の各プロジェクトを紹介するパネル、キャプションの展示

(ウ) その他必要な業務

<条件>

(ア) 展示に必要な器については、委員会が調達（購入）の上、受託者に貸与する。

(イ) 施設内での販売は行わないこととする。

(3) 広報・記録に関わる業務

① 宣伝広報及び広告に関わる業務

(ア) ホームページ・SNS ページ（Facebook 等）・リーフレット・チラシ・ポスター等の企画及び作成

(イ) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌広告等の企画及び作成

② その他必要な業務

<条件>

(ア) 宣伝広報及び広告については、県内外に効果的に PR するためのデザイン、図柄、キャッチコピーなど具体的内容を示すこと。

(イ) プレイバント等の事前 PR を具体的に企画すること。

9. 情報セキュリティの確保

(1) 情報セキュリティポリシーの遵守

受託者が業務を行うにあたっては、「佐賀県情報セキュリティ基本方針」を遵守しなければならない。

(2) 守秘義務

受託者は、業務上知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできない。また、委託業務終了後も同様とする。

10. その他

- (1) 体験型屋外仮設空間全体のトーンアンドマナーを統一する目的で、委員会が別途配置するアドバイザーの設営・運営、空間デザイン等に関する助言等を受けることとする。
- (2) 広報については、委員会が別途配置する東京広報事務局との連携を図ることとする。
- (3) 本仕様書に定めのない事項については、その都度、委員会と話し合いの上、定めることとする。
- (4) 業務の実施にあたっては、関係法令を遵守すること。
- (5) 広報物等の著作権は、委員会に帰属するものとする。

※参考：有田焼創業 400 年記念イヤー事業の概要

(1) 概要

全国から注目を集め、有田焼創業 400 年を発信する記念イヤー事業を、2016 年に「九州陶磁文化館」を拠点として展開する。

※館内：特別企画展の開催【展示】／館外：体験型仮設空間の運営【催事】

(2) 場所

佐賀県立九州陶磁文化館（佐賀県西松浦郡有田町戸杓 3100-1）

(3) 目的

○有田焼の「鑑賞」や「体験」（「食」とのコラボなど）を通じ、来場者にその根源的な価値と合わせて、“有田焼創業 400 年事業の成果と未来に向けての有田焼の提案”を体感してもらうことで、これからの有田焼に対する期待感を高め、新しいファンを掘り起こす。

○有田焼を通して、佐賀県が有する本物の資源に対する評価を高め、佐賀県のブランドやプレゼンス向上を図る。

○地元佐賀・有田焼産地の人たちに、有田焼創業 400 年を機に、有田焼を誇りに想い、県民共有の財産として再認識してもらう。

(4) 館内での特別企画展の開催 ※各企画展とも会期は調整中

① 特別企画展「人間国宝と三右衛門」

○概要：佐賀県が誇る人間国宝と歴代三右衛門の代表作を展示する。

○会場：九州陶磁文化館 第3展示室

○会期：平成28年6月下旬～9月中旬

② 特別企画展「日本磁器誕生」

○概要：有田磁器の歴史と革新を軸に、日本磁器の歩みと美を紹介する。

○会場：九州陶磁文化館 第1・2・3展示室

○会期：平成28年10月上旬～11月下旬

③ 特別企画展「日本磁器の源流」

○概要：17世紀初頭に誕生した有田磁器が目指し、世界市場のスタンダードであった中国磁器を超えようとした有田焼の源流を紹介する。

○会場：九州陶磁文化館 第1・2・3展示室

○会期：平成28年12月上旬～平成29年1月中旬

(5) 館外での体験型仮設空間の運営

「7. 委託業務の概要」に記載のとおり。